

企業版ふるさと納税の現況について

- ① 企業アプローチのポイント
- ② 制度の役割

株式会社カルティブ
企業版ふるさと納税コンサルタント
river認定講師
小坪 拓也

企業規模にあったアプローチシナリオを立てることが大切
SDGsなどのトレンドワードをしっかりと取り入れましょう。

オーナー企業(大企業・地域優良企業)

トップダウン

- 忙しい経営者の即断即決を促す「分かりやすい訴求」が大切
- 共感性が高く具体的な社会貢献ストーリー（シンプルに！）
- 魅力的なメリットの提案
- 面倒な作業や申請はNG。クラウドファンディングの活用を検討する

大企業(上場クラス)

ボトムアップ

- 後ろの決裁者を説得できるストーリーを作る（双方の課題解決）
- 全体図（プロジェクトスキーム）のシンプル化が大切
- 企業の中長期のメリット（＝投資になること）を明示する
- 単年ではなく、中長期の関係値作りを目指す
- 企業側からのプロジェクト提案に柔軟に対応できるようにする

地方と企業が深く連携することで、
地方の魅力をさらに高め、
素晴らしい日本を守っていくツール

× 財源補填

○ 企業と地方が繋がるきっかけを
提供するための仕組み

以上で終了となります。

ありがとうございました。